

一般社団法人日本イベントプロデュース協会イベント総合研究所
「JEPCイベント総研論文集」掲載原稿投稿規定
イベント研究論文【EIM方式】記述要項

I. 掲載原稿の種類と字数制限

「JEPC イベント総研論文集」の掲載原稿の種類と字数制限は以下の通りとする。以下に掲載した種類以外の原稿については、その都度編集委員会の掲載の可否を決定する。

研究論文は次のように大別する。

1. 研究論文(Article)

研究論文は独自な研究成果をまとめたもの(基本的には図表を含んで 15,000 以上 35,000 字以内)とする。

2. 研究ノート

事例報告、調査報告等について資料的価値のあるもの(基本的には図表を含んで 20,000 字以内)とする。

II. 論文の体裁/EIM方式

研究論文、研究ノートともに、原稿の構成は下記の通りとする。

1. 論文形式 (論文印刷見本は別添テンプレート参照)

1) 表題等

- (1) 論文タイトル、副タイトル：和文および英文で表記
- (2) 氏名および所属：和文および英文で表記

2. 本文大見出しによる構成

本文は必ず、次の大見出しの構成により組み上げること。

- I. はじめに
- II. 研究の背景
- III. 研究の目的
- IV. 研究の方法
- V. 研究の結果
- VI. 考察
- VII. 今後の課題

3. 見出しの付け方

見出しは原則として次の形式に従うものとする。

大見出し I. ○○○ (2段組中央揃い) II. III. IV. ……(. は全角)

中見出し 1. ○○○ 2. 3. 4. ……(. は全角)

小見出し1 □(1) □○○○ (2) □ (3) □ (4) □

小見出し2 □□ i □○○○ i □ ii □ iii □

4. 注および引用文献

(1) 注は、本文中の関連箇所の右肩に括弧付き上付文字で番号を付し(例示：○○○¹⁾)、巻末にまとめて記載する。

著者名、引用文献名(書名)、巻号、発行所名、発行年月、ページ番号

(2) 引用文献の場合は、文章に著作者(時には編集者と機関)と年度を()で記入し、巻末に文献リストをまとめて記載する。

例：小坂善治郎(1991)は……………

5. 表および図のキャプション(タイトル)の扱い

表および図は、「表 1.」「図. 1」のように別個に連番とし、下記のように付記する。

(1) 表のキャプション(タイトル)：表の上部左合わせ／表 1. ○○○

(2) 図のキャプション(タイトル)：図の下部左合わせ／図 1. ○○○

(3) 引用文：表および図の下、右合わせで記入

6. 句読点

原則として「、」と「。」を使用する。

7. 原稿の作成および提出方法

(1) 原稿の作成

① 原稿はオフィスワードにより作成すること。

② 挿入する図および表は、本文での挿入箇所を明示して、原稿の終わりにまとめて挿入する。

図表は下記の要領で文字数に換算すること。

・刷り上がり 4 分の 1 ページ大の図表 600 字

・刷り上がり 2 分の 1 ページ大の図表 1,200 字

いずれもタイトル 1 行、注記等 1 行を含む

(2) 原稿の送付

下記宛メールにて提出。

送付先メールアドレス：akaba@jepc.com

JEPC イベント総合研究所 担当:赤羽政嗣

Ⅲ. 論文の審査・査読

1. 査読・審査

提出された論文の「JEPC イベント総研論文集」への掲載は、JEPC イベント総研査読委員(複数の大学教授)による査読・審査を経て掲載する。

提出論文が、EIM 方式に相違あるいは、内容に不備がある場合は不掲載とする。(時には提出者に再考を求めることとする。)

2. 審査結果の報告

査読委員は、論文到着後速やかに査読を行い、その結果を「査読結果報告書」に記入

して研究所長宛提出する。なお報告書の中の「論文掲載の適否」は次のように区分する。

- ① 適当：論文集への掲載の措置をとる。
- ② 条件付適当：査読委員のコメントを提出者に返送し、再検討および修正を要請する。再提出されると、当該査読員の再査読の上、掲載の措置をとる。
- ③ 不適：論文集への不掲載の措置をとる。

IV. 論文の著作権、転載等

1. 論文の著作権

「JEPIC イベント総研論文集」掲載の論文の著作権は本人および JEPIC イベント総研に帰属する。論文が掲載と決定された時点で、著者は JEPIC イベント総研へ著作権を移譲する。

2. 転載

図・表・写真等を他所から転載する場合、著者の責任において事前に著作権所有者から転載の許可を得ているものとし、この事実を証する書式(自由)を原稿に添付する。